

## 令和3年度当初予算編成方針

### 1 予算編成の考え方

- ・感染症対策と社会経済活動の両立など新たな行政課題について、県民目線と現場主義を徹底し、各部局が連携のうねスピード感を持って重点的・効率的に施策を推進
- ・県民が主役で夢を叶えることができ、県民参加のワクワクする富山県を目指し、県内外の皆さんの新たな発想や提案を積極的に取り入れ
- ・新型コロナから県民の生命、健康、雇用、生活を守り抜き、必要な支援をスピーディに届ける体制を構築
- ・新型コロナによる経済危機を踏まえ、公共インフラの更新事業を前倒しし、「令和の公共インフラ・ニューディール政策」を推進
- ・既存事業は必要性や方策を再検討し、大胆に見直しを進めるほか、市町村や企業・関係団体との連携強化を図り、民間活力の導入を積極的に検討

### 2 要求特別枠の設定

- (1)ウイズコロナ、アフターコロナ時代も見据え、新しい富山県の創造に向けた政策を積極的に推進するため、「富山県新成長戦略枠」を設定
- (2)特区制度等も活用し、民間活力を活かす官民連携の「民需主導特別枠」を設定
- (3)現場の視点とアイデアを活かし、新たな課題に迅速・果敢に対応していくため、各部局に「サンドボックス枠予算」を設定

### 3 県民の命と暮らしを守るための新型コロナへの対応

- ・新型コロナ対策と社会経済活動の両立のために必要となる臨時的な経費については、国の予算編成の情報収集・分析を徹底したうえで所要見込額での要求を認める

### 4 事業の見直しと国の予算編成への対応

- ・税収の大幅な減少による非常に厳しい財政状況が見込まれるため、新規事業の要求にあたっては、既存事業をゼロベースで見直し、スクラップ&ビルドを徹底するほか、ICT活用等により経常的経費を節減（R2.12月下旬に事業見直しヒアを実施）
- ・国の予算編成の動向については、今後編成される第3次補正予算も含めて情報収集に努め、的確に予算要求に反映

### 5 要求基準の設定

- (1)重点政策経費 ①「富山県新成長戦略枠」「民需主導特別枠」に係る事業については所要見込額  
②「サンドボックス枠予算」については各部局1,000万円
- (2)コロナ対策経費 所要見込額
- (3)一般行政経費  $\Delta 20\%$ （R② $\Delta 15\%$ ）  
ただし、県民生活への影響の大きい経費については別途協議
- (4)投資的経費 国の予算、地方財政計画等を踏まえ、予算編成過程で決定  
なお、国の財源等も積極的に活用し公共インフラの更新を前倒し
- (5)経常的経費  $\Delta 3\%$ （R② $\pm 0\%$ ）